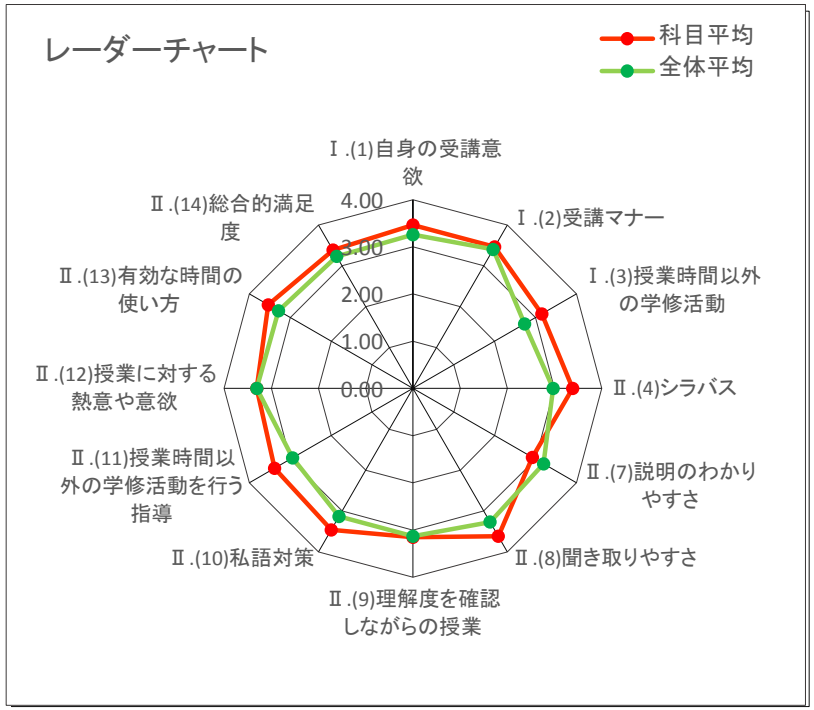
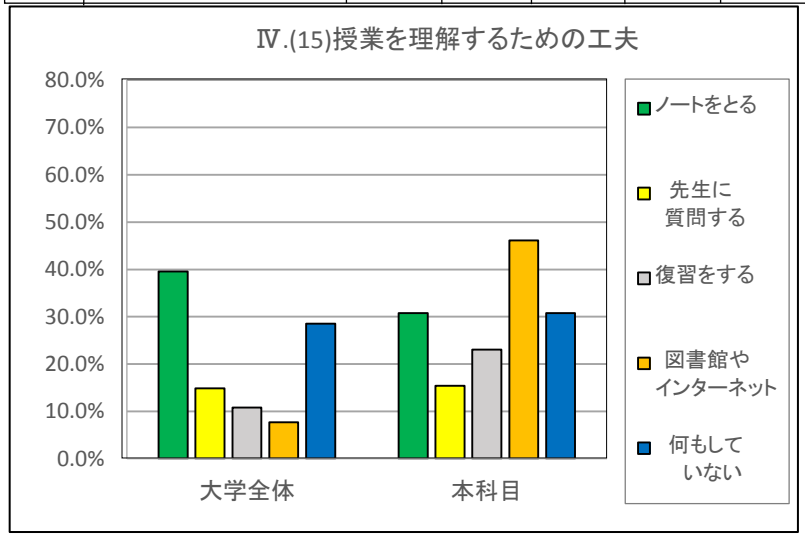
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.46	3.26
	Ⅰ.(2)	3.46	3.40
	Ⅰ.(3)	3.15	2.73
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	3.38	2.97
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	2.92	3.20
	Ⅱ.(8)	3.62	3.27
	Ⅱ.(9)	3.15	3.13
	Ⅱ.(10)	3.46	3.13
	Ⅱ.(11)	3.38	2.94
	Ⅱ.(12)	3.31	3.31
	Ⅱ.(13)	3.54	3.29
満足度	Ⅱ.(14)	3.38	3.23

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2,（あまりそう思わない）、1（そう思わない）

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(15)	授業を理解するための工夫	30.8%	15.4%	23.1%	46.2%	30.8%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	3.36	3.13
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(13)	3.35	3.15
総合的満足度 Ⅲ.(14)	3.38	3.23

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度　前期
時間割番号	21402
科目名	ネットワーク基礎演習
教員名	

①授業計画の達成度について

授業はシラバスに記述した計画通りに実施した。また授業は演習という性質上、目的が毎講義ごとに細かく設定出来たため、アンケート結果を見ても学生に理解しやすい授業であったと考えられる。また授業は基礎科目なためネットワークに必要な初期の知識から説明ができたため、学生の理解度も高かった。本授業は学生に対し適した授業レベルであった。

②授業の進め方について

授業は演習のため、全員がパソコンを利用して授業を実施している。授業内容としてはネットワーク上に流れているパケットを順番に確認し、最終的にはパケットを制御するプログラムを作成したが、講義内容や授業環境のアンケート結果を確認してもアンケート結果は平均以上で授業の進め方としては問題がなかったが、説明のわかりやすさの点でアンケート結果が平均を下回っている。これは基本となる知識としてC言語で説明をおこなったが、C言語を理解していない学生が多くいたためと思われる。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

各種アンケート結果から授業内容としては妥当であり、授業外での勉強も多くの学生が行っていることが分かるため、授業の進め方としては良かった。しかし、アンケート結果から授業外で何もしていない学生も見られ、これはC言語の知識がたりずに、授業内容についてこれない学生がいたためである。今後は学生毎に適したレベルの課題を宿題として出す必要がある。

奈良学園大学